

ゼミ活動で企業見学 in TeNY

9月に入っても残暑厳しい1日、伊部ゼミ（3年生）では、「実践ゼミナールⅢ」の一環として、企業見学で「手と手とテニィ」でおなじみの“株式会社テレビ新潟放送網”（TeNY）を訪問しました。

学生からの質問「“手と手とテニィ”の由来は…」「TeNYの強みは何か？」「ADの仕事とは…」「報道で心掛けていることは何か？」などに答えていただいた後、夕方の生番組である「夕方ワイド新潟一番」のスタジオやリハーサルの見学や報道フロア、マスタールームやサブコントロール室など普段見ることの出来ない施設などを見学しました。特に、「夕方ワイド新潟一番」のリハーサルは、本番さながらの緊張感が張りつめた雰囲気の中で行われており、学生たちにもその緊張感は伝わっていたようです。マスタールームでは、放送を24時間チェックしている方がいることやアナログ放送、デジタル放送、ワンセグ放送ではそれぞれ2秒の受信差があることなどを伺いました。

また、ご説明やご案内をしていただいた隅田 至一様からマスメディアという仕事のご苦労や喜びについてのお話を伺い、実り多い時間を過ごしました。



隅田 至一様から説明を受ける学生たち



諸橋 碧アナとの記念撮影 “新潟一番！”



報道フロアで紫竹 聡子様から説明を受ける学生たち



学生たちの合成映像

貴重なお時間を頂戴し、本見学でのご説明やご案内をしていただいた隅田 至一様と紫竹 聡子様に深く感謝申し上げます。ゼミ生においては、この経験をこれから始まる就職活動に活かし、自分自身を見つけるきっかけにしてもらいたいと願っています。

伊部 泰弘